



今年も元気に活動します

除草剤に含まれるグリホサートや殺虫剤に含まれるネオニコチノイド系農薬は、子どもの発達障害やアレルギーとの因果関係が疑われており、学校給食の有機化は、これらの急増に歯止めをかけられるのではという期待があります。また子どもたちに環境に優しい持続可能な農業を伝えることは、環境学習にもなります。

学校給食から始めよう

農業や化学肥料、化学物質を使わない、人体や環境に優しい有機農業が世界的に進められています。身近な学校給食はどうなっているでしょうか。

学校給食に 有機食材を取り入れよう！



市民ネットワークが始めた、無農薬・無化学肥料の「耕さない田んぼ」。19年目です。

県内の先進自治体に学ぶ

いすみ市は、2015年度から学校給食に地元産の有機米を使用。米農家の協力を得て生産量を徐々に増やし、2018年度には市内全小中学校の給食で使用するお米の全量を、無農薬・無化学肥料の有機米に切り替えました。

木更津市は、2016年に「オーガニックなまちづくり条例」を施行し、市が地域一体となり積極的に取り組んでいます。未来を担う子どもたちへの食育推進を目指して、有機米の学校給食導入を始めました。

最初の2019年度は年3日でしたが、今年度は52日まで増やし、2026年度には100%有機米にすることを目指しています。お米は野菜と比べて保存期間が長く、大きさをばらつきもないので



有機農業の生産者を訪ねて、お話を聞きました。

佐倉市の状況は

いすみ市、木更津市と比べると佐倉市は水田の占める割合が少なく、さらに有機米に取り組んでいる生産者は少数です。しかし、有機野菜に取り組む新規就農者が多く、約50名の生産者がいます。

給食に有機野菜を取り入れている学校は、34校中28校（昨年11月の献立）ありましたが、里芋・ニンジン・レンコンにとどまってい

給食に導入しやすいそうです。30〜40代の子育て世帯の移住が増え、学校給食の有機化への関心が高いと考えられます。人口減少の佐倉市でもこのような取り組みをすれば、子育て世帯が増えるのではないのでしょうか。

ます。市は取り入れられない理由について、安定供給できない、野菜の規格が大小バラバラで調理しづらいといった点を挙げています。有機野菜の生産者同士で、品目と量を共有できるアプリを使つて、幼稚園給食に安定供給できているグループがいます。できない理由を述べる前に、このような例を参考にすべきです。

一向に進まない！

市民ネットワークは学校給食の有機化について、何度も市に要望してきました。しかし、調査研究するだけで一向に進みません。いすみ市や木更津市は市長が「子どもたちのためにやろう！」と進めました。やはりトップがやるうとしなければ、実現しません。議会質問で市長に問うと「休耕地を使い、ここだけは農薬を使わないとか地域限定という方向性で考えている」と答弁。これでは学校給食まで進みません。

佐倉市は各学校で調理する「自校式給食」なので、この特徴を生かせば少量ずつでも切り替えることができるはず。市内の有機生産者と連携し、市が率先して生産者と学校を繋ぐよう要望していきます。



市議
松島こずえ

ゲノムが 街にやってくる！

ゲノム編集食品が食卓に並び日が、目の前に迫っている。

ゲノム編集食品とは、生物が持つ特定の遺伝子を破壊することで、本来の性質を変えたもの。例えば、トマトには高血圧を抑えるギャバ成分が多いが、ギャバ成分の生成を抑制する遺伝子も含まれる。この遺伝子を、ゲノム編集で破壊すれば、ギャバ満載のトマトが出来るという次第。また、成長にブレーキをかける遺伝子を破壊して、成長速度が2倍になったトランプグや、肉厚マッチョなマダイも出現した。



安全審査も無し、表示も無し

従来の遺伝子組み換え食品と違い、ゲノム編集食品は外から別の遺伝子を入れるわけではないという理由で、安全審査は行われず、食品に表示もされない。しかし、想定外のタンパク質が生成されたり、大規模な遺伝子損傷が起きたケースが、米国の政府機関サイトに掲載されている。人の健康にどんな影響があるかわからないゲノム編集食品だが、日本では全くノーチェックで、すでに流通販売された。

今年にはギャバトマトの苗を福祉施設に配布し、来年からは全国の小学校に無償配布の予定だ。子どもたちが苗を育てさせ、ゲノム編集トマトに抵抗感をなくさせる狙いが透けて見える。

この問題に詳しい印鑰智哉さんを講師に迎える学習会が、2月26日開かれる。

申込フォームはこちら↓



子育て世帯 10万円給付金

をめぐる狂騒曲

昨年12月子育て世帯臨時特別給付金として、10万円が出ることに決まりましたが、蓋を開けてみれば、現金5万円＋クーポン5万円を与党が提案。クーポン配布にかかる事務費は、現金給付の3倍以上の967億円。自治体の負担も増え、時期は新学期以降とのこと、国民のほとんどがガツカリしました。

独自に現金10万円一括給付をする自治体も出始めた12月7日佐倉市では、文教福祉常任委員会で、まず現金5万円給付等について審議が行われました。冒頭、委員長から、今回の補正予算にある現金5

万円で、文教福祉常任委員会で、まず現金5万円給付等について審議が行われました。冒頭、委員長から、今回の補正予算にある現金5

12月23日臨時議会が開かれ、残りの5万円を合わせて10万円一括給付することを、全会一致で議決しました。国の制度では、離婚や別



市議 川口えみ

居世帯で対象から漏れてしまう子どもたちがいるため、市民ネットワークは、それを防ぐよう支援を求めました。



市長に要望書を渡しました 12/16

マイナンバーカード

少しのお得で 大きなリスク

昨年10月から健康保険証の代わりにマイナンバーカードが使えるようになりましたが、鍼灸院では使えません。医療機関も、カードリーダー導入の補助金では必要台数が揃わない、事前に初期登録する作業量が大きい等の理由で導入を見送っているところが全国的に多くなっています。佐倉市内でも、9病院、12歯科、27薬局しか使えず普及していません。(1月30日時点)

マイナンバーカードを作れば、買い物に使えるポイントがついてきます。マイナポイント目当てにカードを作れば、個人情報漏洩のリスクが高まります。IDカードがある国でも、家の外に持ち出さ

ないようになっています。身分証明として使う時も、絶対に番号が書かれている裏面はコピーしないことが大切です。

インターネットで、様々な手続きができて便利になると国は言いますが、何を買ってどこへ行ったかなど個人情報把握され、それを民間企業に利用されてしまいま

すが、何をいつどこへ行ったかなど個人情報把握され、それを民間企業に利用されてしまいま

八千代市などをはじめ全国で、役所で保管中のマイナンバーカー

ドを紛失したということもありません。持ち歩かない・見せない・コピーしないよう気を付けなければならぬマイナンバーカード、こんな厄介なものを持たないことが一番安全です。

国のマイナンバーポイント分は、2.1兆円。事業費は2014〜16年度発注分で、当初予定の2.6倍の約1670億円。カード発行対応は当初58億円から750億円に。

システム改修費は、契約変更を繰り返して、80倍以上増え、17億円。今後も増額が見込まれています。どこに利益がいつているのか見えない公共事業と言われています。

システム改修費は、契約変更を繰り返して、80倍以上増え、17億円。今後も増額が見込まれています。どこに利益がいつているのか見えない公共事業と言われています。

システム改修費は、契約変更を繰り返して、80倍以上増え、17億円。今後も増額が見込まれています。どこに利益がいつているのか見えない公共事業と言われています。

電力の地産地消で地域再生へ

市議 松島こずえ

耕作放棄地を利用し、ソーラーパネルを設置している「市民エネルギーちば(株)」の東光弘さんを訪ねて、匝瑳市へ視察に行ってきました。

匝瑳市での取り組み

東さんは20年前から環境問題に取り組み、2011年から自然エネルギー普及活動に専念。現在はソーラーシェアリングを活用しての市民発電所事業に取り組んでいます。森林を乱開発するメガソーラーとは違い、耕作放棄地を使用するソーラーシェアリングは自然破壊にはつながりません。市内の電力を自然エネルギーで賄う等、環境型の経済活動を目指す企業と連携。社員がパネルの取り付けや草刈り等の作業に参加しています。市民出資によるパネルオーナー制度を導入し、誰でも参加できます。

地域に還元

耕作放棄地が電気を生み、作物が育つ土地になり、匝瑳市には固定資産税が入る、雇用も生まれる。電力の地産地消は地域再生に繋がっています。災害時には停電に備えて無料充電所を開設。自宅から炊飯器を持参して、お米を炊いて持ち帰ることもできるそうです。

環境にやさしいパネル

34000㎡の広い畑地に並ぶパネルは、よく見るソーラーパネルとは大違いで、地上から高く立ち上がり、35cm幅の細いパネルです。パネルが細いので、風通しがよく日光も遮られません。下の畑地は小糸在来という千葉県の在来種の大豆が有機栽培されていて、土がふかふか。夏場は上にあるパネルのおかげで土の温度が10℃下がり、よい作物が育つそうです。和菓子屋と連携して有機小豆の作付けや、オーガニック大豆コーヒーや地ビール等、特産品

耕作放棄地が電気を生み、作物が育つ土地になり、匝瑳市には固定資産税が入る、雇用も生まれる。電力の地産地消は地域再生に繋がっています。災害時には停電に備えて無料充電所を開設。自宅から炊飯器を持参して、お米を炊いて持ち帰ることもできるそうです。



ソーラーシェアリングを視察 12/20

市も国も料金値上げラッシュです！



市議 五十嵐ともみ

介護保険料の基準月額が、昨年450円値上げになりましたが、さらに今年も次々と値上げが迫っています。

4月から水道料金が…

水道料金は八ツ場ダムの完成で、受水費が跳ね上がってしまうため値上げされます。値上げ幅は、企業などの大口利用者より、普通の家庭の方が大きくなるという料金体系で、取りやすいところから徴収するという安易な値上げとなっています。また、住民票等の手数料や公民館、コミュニティセンター等の利用料も、4年ごとに改定するという方針通りに値上げを決定し、4月から実施されます。

コロナ禍で生活が苦しい市民が増える中で、値上げを回避するための検討もなく、安直に進める市の姿勢に異議を申し立ててきました。

医療費の窓口負担が2倍に

10月からは、75歳以上の人を対象にしている後期高齢者医療制度の医療費窓口負担が2倍（1割から2割）に引き上げられます。対象になるのは、単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯では320万円以上（現役並み所得がある人は3割）。対象者数は全国で370万人、佐倉市は9千人弱。

国は「現役世代の払う保険料の負担上昇を抑える目的がある」と説明しますが、その効果はわずか一人あたり年額350円程度。この説明は値上げの名目に使われたといわざるを得ません。

増額が止まらない！明神橋災害復旧工事

工業団地ちばりサーチパーク（西御門）内にある調整池にかかる明神橋。2019年9月の台風、10月の豪雨により橋と調整池の法面が崩落し、災害復旧工事が行われています。2020年6月当初の工事費は2億4512万円でした。

工事開始後に、池の底にヘドロが溜まっていたり、道路に埋まっているガス管や電話線などの移設協議が難航しているという理由で工事を一時中断。その間に法面がさらに崩れるという事態が発生しました。こうした状況により工事設計の見直しを余儀なくされ、工事費が2億5838万円と増額に。その他にも当初想定されていなかった工場の倉庫移転費と建設費が必要と

なり、1億3510万円が予算化され、復旧工事は総額で4億5010万円と2倍に跳ね上がることが判明しました。

● 増額は闇の中？

さらに、市は「工事が進めば地下埋設物の新たな発見など、何があるかわからない。工事費増額の恐れがある」と説明。その場合に備え、4500万円までの増額を議会の議決を必要としない専決処分にしてほしいと、11月議会で申し入れがありました。まるで現金自動支払機のようなものです。これにさくら会、公明党、自由民主さくらなどが賛成したため、決定となりました。今後議会が検証できない工事費



佐倉市側から見る明神橋崩落現場

の増額が起きてしまいます。市民ネットワークは議会の責任を果たすために、議決事項としておくべきと主張し、反対しました。

市民の暮らしに必要な水道の料金などを値上げする一方で、ずさんな工事費の支出を認めるのは、税金の使い道として問題です。

これで終わらない

今回の2割負担の対象となる条件（単身世帯は年収200万円以上など）は、法律ではなく政令によって決められました。政令は国会で議論することなく国が決定できます。

国民に負担を押し付け、公的医療費を削減するために、今後、所得の低い層にも拡大される恐れがあります。これを回避するためには、国の政治状況を変える必要があります。7月の参議院選挙で意志を表明しましょう。

市民の監視が必要です

新佐倉モグラ図書館差止裁判、いよいよ山場へ



弁護士 清田のり子

新佐倉図書館建設事業は、すでに地下工事は終わり、地上部分の建築工事が進んでいます。その光景を見るにつけ、外からは見えない地下に図書館があるのだという現実を突き付けられて、胸が痛くなります。

この事業は、狭くて地盤が軟弱な新町駐車場という立地選定の誤りにより、湯水のごとく税金がつき込まれています。

さらに、2021年11月議会で、書架や机、椅子等を特注する予算

として、何と2億1千万円が承認されてしまいました。特注備品の必要性などありません。「城下町らしさを演出するため、友禅の反物を書架に貼る」という意味不明なことにも、市長派の議員サンは、異を唱えず賛成したのですから、議会のチェック機能は全く働いていません。しかも、特注備品を提案したのは設計業者で、入札したのは1社のみ。入札とは名ばかりで、出来レースといわれても仕方ない状況です。

一方、モグラ図書館差止等を求める裁判も進行しています。裁判は、2020年9月に提訴以来、7回の公判を重ねてきました。原告団が差止めを求める理由の主張はほぼ終わり、いよいよ証人尋問の段階になりました。立地を決めた前市長、当選後リセットなくモグラ図書館計画を承継して工事を始めた現市長、そして、設計業者の選定の際、飛びぬけた高得点を付けた市職員の計3人を尋問したいと申請しました。ところが市は「争

点と関係ない」と尋問を拒否しています。裁判官の「全体の流れがわかる職員の尋問を検討してほしい」との指示にも、あれこれと異議を述べています。

原告団は、3人の尋問を実施してほしいと、市民の皆さんの署名を集めて提出しました。

2月15日の第8回公判の結果など、詳しくは2月末発行の「清田のり子とスペース結通信」最新号でお知らせします。証人尋問の際にはぜひ傍聴にお越しください。

県議会報告

いのちと暮らしを守る 県政に

県議 伊藤とし子

ブログ「伊藤とし子のひとりごと」
伊藤とし子のメルマガ配信中



伊藤とし子の
県議会報告 2月号

4月から HPVワクチン接種勧奨再開

接種後の副作用は、ハンマーで殴られるような頭痛、ナイフで削られるような全身の痛み、不随意運動、歩行障害、重度の倦怠感、学習障害、記憶障害など、様々な症状が一人の患者に重なって出るのが特

想像もつかない副作用

うえ、被害救済補償も不十分です。進学を断念し、就職もままならず、不安な生活を送っている被害者も少なくないのに、なぜ再開したのでしょうか。

ワクチンより検診を

子宮頸がんの原因とされるHPVは50歳までに8割の女性が一度は感染すると言われています。感染しても2年以

新たな被害者のおそれが

HPV(子宮頸がん)ワクチン接種後、重篤な副作用が多発したため、国は2013年6月から対象者に接種を促す通知を中止していました。しかし、今年4月から再開し

微です。重篤の場合は寝たきりや、介護が必要だったり、本人も家族も大変な生活を送っています。

狙いは在庫一掃!!

ワクチン接種が進まない日本に業を煮やしたメーカーのメルク社は、コロナ禍に乗じて「HPVワクチンの消費期限が切れて廃棄せざるをえなくなる。そうなれば、コロナワクチンや治療薬にも影響するぞ」と厚労省にHPVワクチンの接種勧奨再開を迫ったのです。

議会予定

■千葉県議会 2月定例会議会(予定)

2/16(水)開会 ~ 3/18(金)閉会
2/22(火)、24(木)、25(金)、28(月)~3/2(水) 一般質問
3/4(金)、3/7(月)、8(火) 予算委員会
3/9(水)、10(木)、14(月)、15(火) 常任委員会

■佐倉市議会 2月定例会議会(予定)

2/21(月)開会 ~ 3/22(火)閉会
2/28(月)~3/3(木) 一般質問
3/7(月)~10(木) 常任委員会
3/14(月)~17(木) 予算審査特別委員会

インターネット
中継(本会議のみ)も
ご覧ください



無症状だけど心配な場合

◆薬局で無料のPCR検査を
熱が出た場合
◆かかりつけ医に電話を

◆かかりつけ医がない場合

①千葉県発熱相談コールセンターへ
0570-200-139 (24時間対応)
②印旛圏域の発熱外来に電話を



コロナ第6波 医療は今…

臨時医療施設を続々開設

昨年8月から9月の第5波の時、入院できずに自宅療養で亡くなる方も出ました。「臨時医療施設の早期開設を」と要望してきました

臨時医療施設の場合、県は阪急交通社に医師・看護師の手配も含み、運営を丸ごと委託。人材派遣でかき集めた医療チームで上手いくのか懸念されます。

が、ようやく稲毛区に臨時医療施設110床とプレハブ宿泊療養施設38室(50床)が開設され、2月からフル稼働しています。さらに流山市には総合体育館に50床が開設されました。

さらに、委託契約では県は医療チームに直接指示はできず、いちいち阪急交通社の責任者を通さなければなりません。緊急事態に対応できるでしょうか。

医師・看護師確保が緊急課題!

旧がんセンターは63床増床しても、看護師不足で結局は32床しか稼働できませんでした。その後も看護師不足は解消できず、稲毛区

医師・看護師の数では、常に全国最下位に近い千葉県。実は、財政力は全国4位。

医師・看護師の拡充に、もつと予算を配分すべきです。みなし陽性
感染爆発のオミクロン株

に検査体制が追い付きません。千葉県ではついに、感染者の同居家族などの濃厚接触者が発熱した場合、PCR・抗原検査をせず、医師の判断で陽性診断できる「みなし陽性」が始まりました。医療崩壊そのものです。



通園・通学路の現地調査報告集ができました

昨年6月の八街市の事故を受け、市民ネットワークでは、危険な通学路の独自調査を決定。8月15日発行の通信で、皆様からの情報提供をお願いしました。9月半ばには35件の情報が集まり、10月から現地調査を始めました。

命より道路が大事?

市内には歩道のない道路が多いことにびっくり。しかも大型車両侵入禁止の標識があるのに、大きなトラックがバンバン走り、歩行者が肩をすぼめて歩いています。調べてみると、大型車両とは見た目ではなく重さで決まることが分かりました。重量制限以内なら、道幅すれすれでもOKです。法律では、道路が傷まないよう重量だけ規制すること。しかし、歩行者にとっては車の幅こそが問題です。人の命より道路を守るために法律はあるのか、怒りを覚えました。

子どもたちの安全のために

報告書には、危険箇所の地図や現地の写真、県や市の対応や今後の見通しなども掲載。子どもたちが安心して通学できるようにと、祈る思いで作成しました。どうか実物を手に取ってご覧ください。ご希望の方は、さくらネットにご連絡ください。ホームページでもご覧いただけます。